

明治神宮は東京で最も大きな神社のひとつです。122代目の天皇である明治天皇と昭憲皇后を祭神（霊、魂）として祀っています。明治天皇は、1867年から1912年までの日本の歴史の中で最も劇的な時代を治世しました。封建時代の終了後、王政は1868年に明治天皇の元に戻り、日本の近代化が始まりました。神宮は、1912年に天皇が、1914年に皇后が亡くなられた後、1920年に完成しました。明治神宮は初詣（一年の最初の神社への参拝）をする場としても最も多く人が集まります。

ここから明治神宮の神聖な森を歩いて本殿に向かう途中には、美しい菖蒲田もあります。ここにあった菖蒲の庭園を昭憲皇后がお好きだったため、天皇皇后が亡くなられた後、明治神宮を建てる場所としてここが選ばれました。

明治神宮は毎日、日の出から日の入りまで開園しており、境内への入場は無料です。中にある御苑への入場料は御苑維持協力金として500円です。最終入場時刻は日の入りの30分ほど前となります。